

平成30年度事業運営報告書

社会福祉法人 小越会

目 次

第一. 社会福祉法人小越会基本理念・基本方針	1
第二. 社会福祉法人小越会法人・施設の概要	2
第三. 社会福祉法人小越会経営執行体制	5
第四. 中長期計画	7
第五. 平成30年度事業実績	7
一 法人全体・本部	
二 第1種社会福祉事業	
1 介護老人福祉施設	
2 障害者支援施設	
三 第2種社会福祉事業	
1 高齢福祉サービス(在宅)	
2 障害福祉サービス(在宅)	
3 就労支援事業	
四 公益事業	
1 居宅介護支援	
2 介護保険法に定める訪問調査	
3 暮らし元気アップ事業	
第五. 各拠点における主な活動実績	13
一 法人本部	
二 こしじの里しぶみ園	
三 おごしの里	
四 しぶみ工房	
実績資料	19

社会福祉法人小越会 基本理念・基本方針・行動指針

基本理念

- ①当法人小越会は、次の3つの精神を基本理念として社会福祉事業に取り組みます。
 - 1)『思いやり』のあるサービスの提供
 - 2)『優しさ』をもったサービスの提供
 - 3)『愛情』のあるサービスの提供
- ②利用者の人格の尊厳を礎に、利用者本位の福祉サービスを安定した経営環境のもとで提供いたします。
- ③安全で安心できる暮らしの継続をモットーに、地域福祉の拠点として、そして地域のよりどころとしての機能を十分発揮して住民の期待と信頼にこたえます。

基本方針

- 1 「利用者に寄り添う心のケアの実践」
- 2 「利用者の人格と尊厳を守れる人材の育成」
- 3 「法令を遵守し安定した経営基盤を醸成」
- 4 「地域貢献を社会福祉法人の使命と捉え、信頼を高める」

行動指針

- 1 関わりを持ち、心配りができる心身のケアに努めます。
- 2 笑顔と優しい言葉で接します。
- 3 相手の立場に立って考え、信頼ある行動に努めます。
- 4 安全で安心な生活の継続を支援します。
- 5 差別、虐待、人権侵害を許さず、権利擁護に努めます。
- 6 環境の改善を進め、明るい組織風土づくりに努めます。
- 7 法令を遵守し、福祉の専門職として、その力を発揮します。
- 8 常に自己研さんに努め、小越会の一員として誇りと自覚を持って地域福祉の増進に努めます。

第二 社会福祉法人小越会 法人・施設の概要

平成 4 年 5 月	社会福祉法人小越会法人設立認可
平成 5 年 4 月	特別養護老人ホームおごしの里開所
平成 10 年 10 月	特別養護老人ホームこしじの里開所 身体障害者療護施設しづみ園 (現 障害者支援施設しづみ園) 開所
平成 12 年 4 月	身体障害者通所授産施設しづみ工房 (現 障害福祉サービス事業所しづみ工房) 開所
平成 24 年 5 月	特別養護老人ホームこしじの里ユニット増築

平成 30 年度 主な沿革

評議員会・理事会開催状況

評議員会

第 1 回評議員会

開催日：6 月 14 日 開催通知日：5 月 30 日

出席 評議員 5 名 理事 5 名 監事 1 名

審議内容等

第 1 号議案 平成 29 年度社会福祉法人小越会事業報告について

第 2 号議案 平成 29 年度社会福祉法人小越会決算について

第 3 号議案 報告 社会福祉充実計画について

第 2 回評議員会

開催日：3 月 27 日 開催通知日：3 月 14 日

出席 評議員 6 名 理事 6 名 監事 1 名

審議内容等

第 1 号議案 報告 1 平成 31 年度社会福祉法人小越会事業計画

報告 2 平成 31 年度社会福祉法人小越会当初予算

理事会

第 1 回理事会

開催日：5 月 30 日 開催通知日：5 月 1 日

出席 理事 5 名 監事 2 名

審議内容等

第 1 号議案 平成 29 年度社会福祉法人小越会事業報告について

第 2 号議案 平成 29 年度社会福祉法人小越会決算について

第 3 号議案 社会福祉充実計画について

第 4 号議案 平成 30 年度第 1 回評議員会について

第 5 号議案 報告 職務執行報告について

第 6 号議案 居宅介護支援事業運営規程の一部を改正する規程 (こしじの里) について

第 7 号議案 居宅介護支援事業運営規程の一部を改正する規程 (おごしの里) について

第 8 号議案 社会福祉法人小越会補正予算について

第 2 回理事会

開催日：9 月 26 日 開催通知日：8 月 27 日

出席 理事 6 名 監事 2 名

審議内容等

- 第1号議案 社会福祉法人小越会給与規程の一部を改正する規程について
- 第2号議案 社会福祉法人小越会育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について
- 第3号議案 社会福祉法人小越会職務分掌規程の一部を改正する規程について
- 第4号議案 契約の締結について
- 第5号議案 社会福祉法人小越会補正予算について
- 第6号議案 職務執行報告について

第3回理事会

開催日：12月12日 開催通知日：11月13日

出席 理事6名 監事1名

審議内容等

- 第1号議案 報告1 入札の結果について
- 報告2 平成30年度社会福祉法人小越会中間時実績報告
- 報告3 職務執行報告について

第4回理事会

開催日：3月14日 開催通知日：1月30日

出席 理事6名 監事2名

審議内容等

- 第1号議案 社会福祉法人小越会就業規則の一部を改正する規則について
- 第2号議案 パートタイマー・非常勤職員（臨時職員）等の就業規則の一部を改正する規則について
- 第3号議案 介護老人福祉施設運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第4号議案 介護老人福祉施設運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第5号議案 介護老人福祉施設運営規程（こしじの里ユニット）の一部を改正する規程について
- 第6号議案 短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第7号議案 短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第8号議案 通所介護及び介護予防通所介護運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第9号議案 通所介護及び介護予防通所介護運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第10号議案 介護予防通所サービス運営規程（こしじの里）の一部を改正する規程について
- 第11号議案 介護予防通所サービス運営規程（おごしの里）の一部を改正する規程について
- 第12号議案 障害者支援施設しぶみ園運営規程の一部を改正する規程について
- 第13号議案 障害福祉サービス事業所（短期入所）運営規程の一部を改正する規程について
- 第14号議案 障害福祉サービス事業所しぶみ工房（就労移行支援、就労継続支援B型）運営規程の一部を改正する規程について
- 第15号議案 報告1 職務状況報告について
- 第16号議案 平成30年度社会福祉法人小越会補正予算について
- 第17号議案 平成31年度社会福祉法人小越会事業計画について
- 第18号議案 積立資産並びに積立資金の取崩しについて
- 第19号議案 平成31年度社会福祉法人小越会当初予算について
- 第20号議案 平成30年度第2回評議員会について

法人監査

平成29年度決算 監事 高橋 芳充 桑原 文昭

実施日：5月22日 しぶみ工房、おごしの里

5月23日 法人本部、こしじの里、こしじの里ユニット、しぶみ園

平成30年度中間 監事 高橋 芳充 桑原 文昭

実施日：11月21日 しぶみ工房、おごしの里

11月22日 法人本部、こしじの里、こしじの里ユニット、しぶみ園

法人・施設・事業状況

○社会福祉法人小越会

長岡市不動沢2219番地5 代表 TEL0258-41-0801

○特別養護老人ホームこしじの里

障害者支援施設しぶみ園

長岡市不動沢2219番地5 代表 TEL0258-41-0801

介護保険事業

- ・介護老人福祉施設 定員50名
- ・介護老人福祉施設(ユニット型) 定員40名
- ・短期入所生活介護(介護予防) 定員20名
- ・通所介護(介護予防) 定員25名
- ・訪問介護(介護予防)
- ・居宅介護支援事業
- ・第一号通所事業

障害福祉事業

- ・施設入所支援・生活介護事業 定員10名
- ・短期入所事業 定員1名
- ・居宅介護・重度訪問介護・移動支援

○特別養護老人ホームおごしの里

長岡市小国町楢沢90番地 代表 TEL0258-95-3110

介護保険事業

- ・介護老人福祉施設 定員50名
- ・短期入所生活介護(介護予防) 定員17名
- ・通所介護(介護予防) 定員25名
- ・訪問介護(介護予防)
- ・居宅介護支援事業
- ・第一号通所事業

○障害福祉サービス事業所しぶみ工房

長岡市小国町原甲348番地 代表 TEL0258-95-5233

障害福祉事業

- ・就労継続支援B型 定員24名
- ・共同生活援助 かわばた寮 7名 ひまわりの家6名
- ・地域活動支援センター

第三 社会福祉法人小越会経営体制

- 一 評議員 7名
- 二 理事 6名
- 三 監事 2名

四 社会福祉法人小越会 経営運営事業執行 体制

◎理事会

◎経営運営会議 理事長 業務執行理事 施設長 本部事務局

◎法人本部

事業		事業の種類	施設名	
社会福祉事業	第1種	特別養護老人ホーム	こしじの里	
			こしじの里ユニット	
			おごしの里	
	第2種	障害者支援施設	しぶみ園	
		老人デイサービス事業	こしじの里	
			おごしの里	
		老人短期入所事業	こしじの里	
			おごしの里	
		障害福祉サービス事業		こしじの里 (居宅介護・重度訪問)
				しぶみ園 (短期)
				しぶみ園 (生活介護)
				しぶみ工房 (就労継続支援事業B型)
				かわばた寮
			ひまわりの家	
老人居宅介護等事業		こしじの里		
		おごしの里		
移動支援事業		こしじの里		
地域活動支援センター		しぶみ工房		
公益事業	居宅介護支援事業		こしじの里	
			おごしの里	
	訪問調査事業		こしじの里	
			おごしの里	
	介護保険法に基づく第一号通所事業		こしじの里	
			おごしの里	

※体制に関わる名簿は別紙

五 各拠点における組織体制
 特別養護老人ホームこしじの里
 障害者支援施設しぶみ園

施設長 番場 光康	
総務課	庶務係・財務係・管理係
生活相談課	生活相談係
高齢介護課	介護支援係・入所介護係・短期入所介護係
看護課	看護係・機能訓練係
在宅介護課	通所介護係
	訪問介護係
居宅介護支援課	居宅介護支援係
障害福祉課	生活支援係
給食栄養管理課	栄養管理係・調理係

特別養護老人ホームおごしの里

施設長 松田 宏基	
総務課	庶務係・財務係・管理係
生活相談課	生活相談係
高齢介護課	介護支援係・入所介護係・短期入所介護係
看護課	看護係・機能訓練係
在宅介護課	通所介護係
	訪問介護係
居宅介護支援課	居宅介護支援係
給食栄養管理課	栄養管理係・調理係

障害福祉サービス事業所しぶみ工房

施設長 中村 悟	
総務課	庶務係・財務係・管理係
障害福祉課	生活支援係・就労支援係
給食栄養管理課	栄養管理係・調理係

第四 中長期計画

一 課題への取組み

- 一. サービスの質の向上に向けた取組み
- 二. 福祉人材の確保・維持
- 三. 財務・資産管理の強化
- 四. 経営組織の強化と事業運営の透明性の確保

二 中期的な取組み（平成32年度まで）

長期的な課題に対応すべく、介護保険計画年度等に併せ、取組みを行います。初回は、平成32年度までとし、その後、3年毎の取組みといたします。

【目標】

一. サービスの質の向上に向けた取組み

- 1 基本理念・基本指針に基づき第三者評価を指標とした自ら取り組むサービスの質の向上
- 2 サービスの「見える化」に取り組む
- 3 地域貢献活動への取組み

二. 福祉人材の確保・維持

- 1 福祉人材確保に向けた取組みと人材育成のための体制の構築

三. 財務・資産管理の強化

- 1 事業活動計算書（第2号の1様式）対サービス活動収益計におけるサービス活動増減差額の確保
- 2 社会福祉充実計画への対応

四. 経営組織の強化と事業運営の透明性の確保

- 1 新経営体制の適正な運営
- 2 運営協議会の立ち上げ検討
- 3 法人本部体制の強化
- 4 事業の在り方検討（継続）

第五 平成30年度事業計画・実績

一 法人全体・本部

【成果報告】

[法人全体]

一. サービスの質の向上に向けた取組み

サービスの質の向上の取組みにおいては、障害者支援施設しぶみ園、障害福祉サービス事業所しぶみ工房にて、第三者評価を受審し、これにより、高齢8事業、障害2事業の計10事業の受審を3年かけて終了しました。今後は、この結果を踏まえ、改善の取組みを行いたいと考えております。「見える化」の取組みについては、第三者評価の結果を当法人ホームページにて閲覧可能とし、事業ごとにアンケートなども実施し、利用者の意見・要望を聴取できる機会も作り、説明に努めました。また、広報なども活用し、事業計画、報告、施設の様子など分かり易さを意識して作成いたしました。地域貢献においては、平成30年度においても、社会福祉軽減事業を実施。認知症カフェ、出前講座なども継続して実施しました。

二. 福祉人材の確保・維持

職員体制においては、200名の体制維持を掲げており、年度末の段階では、常勤非常勤併せて人員は確保いたしました。ただし、職員の高齢化なども相まって、時短雇用が増加傾向にあり、間隙なく業務を行う体制の構築が、喫緊の課題となっております。働き方改革と併せ対応を行う必要があります。法人研修においては、年間を通して実施できました。また、外部研修も介護福祉士実務者研修、認知症実践者研修、喀痰吸引等研修、介護支援専門員更新研修等を中心に参加しております。平成30年4月に給与規程の改正等も行い、基本給、役職、資格の手当等の改正を行ってお

ります。また、同年10月に創立25年を踏まえ、法人独自の一時金支給を行いました。介護負担の軽減のため、移乗用リフトも増設しております。

三. 財務・資産管理の強化

平成30年度については、サービス活動増減差額において、収益確保が達成できませんでした。その理由として、支出については、修繕費用（ナースコール更新費用 21,600 千円他）、社会福祉充実計画への対応（福利厚生事業 約 1,700 千円、一時金支給事業 約 14,000 千円、人材育成事業 900 千円、第三者評価受審事業 600 千円）等を計画とおり執行し、職員確保の必要性から紹介会社の利用も行ってあります。また、当年度、将来の支出に備え、12,000 千円の積立を行ってあります。収入については、一昨年度の感染症の利用減が、平成30年度、春先にも影響し、人員の確保における影響もあり、利用実績に大きく影響しております。なお、人材の確保が行われず社会福祉充実計画については、職員拡充事業が未執行となりました。ただし、社会福祉充実計画においては、平成30年度決算にて充実残高がマイナスになるため、今年度で終了となりますが、現行の福利厚生事業、人材育成事業においては、継続して実施していきたいと考えております。

四. 経営組織の強化と事業運営の透明性の確保

法令、定款、事業計画に基づき、法人・事業運営を行いました。評議員会においては年2回、理事会においては年4回、経営運営会議については、毎月開催いたしました。ホームページに定款、事業計画、事業報告、決算、役員報酬、役員名簿、第三者評価の結果等開示しております。

[法人本部]

平成30年度においては、毎月の経営運営会議の開催、理事会、評議員会の適正執行に努めました。また、法人全体各事業の第三者評価受審を促し、当年度において受審計画は完了いたしました。先行し電子証明を利用した社会保険等届出をこしじの里において実施しました。資格取得の支援においては、本部予算の活用により、介護福祉士実務者研修の参加支援を行ってあります。就職ガイダンス、電子媒体を活用し、平成31年度新卒者2名の採用に繋げることができました。

二 第1種社会福祉事業

1 介護老人福祉施設

老人福祉法並びに介護保険法の規定により、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。

実施拠点

「こしじの里」	定員 50 名
「こしじの里ユニット」	定員 40 名
「おごしの里」	定員 50 名

【取組事項】

- (一) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (二) 日々の支援を適切に行い、前向きな取組み、ポジティブな発想により、組織の風通しを良くし、職員の意欲向上を図り、創意工夫を持って、サービスの向上を図る。
- (三) リスク（事故、感染症、虐待防止、褥瘡予防等）に対する体制を強化する。

【成果報告】

[こしじの里] [こしじの里ユニット]

第三者評価の取組みとして、平成30年度は、従来型特養において、ご利用者との意見交換会を実施しました（3回）。活発な意見交換がなされ、次年度の事業計画の参考となっております。さまざまな事情により退職した職員もいましたが、新たに入職する職員も多く、職員全体で迎え入れる姿勢が以前より見られ、明るい雰囲気になっております。また、安全衛生委員会を中心に職員の健康について、啓蒙を強化いたしました。感染症対策においては、職員の入職に伴い、当施設の対応手順を指導し対応いたしました。働き方の多様化、雇用形態の変化に伴い、総体的に業務の整理が必要であり、少しずつであるが、短時間労働者などの業務の明確化を含め、進めることができました。従来型特養においては、特養と短期の担当職員を明確にし、情報管理に努めました。褥瘡予防の視

点から、ご利用者個々に応じた体位交換の実践を、年間を通して実施し、安楽、清潔保持に努めることができました。ユニット型特養においては、マニュアルの確認から、ご利用者の観察向上を年間通して実施しました。これにより職員間における共通認識を深めることができました。従来型特養、ユニット型特養において、介護移乗器具の活用も行いました。実績については、入退院の動きにより影響が大きく従来型特養においては、昨年度より微増、ユニット型特養においては、1日当たり0.5人減少しております。

【おごしの里】

おごしの里においては、診療所嘱託医の体制変更に伴い、協力医療機関との連携及び緊急時の対応について、ご家族の協力をいただきながら新たな体制づくりを行いました。5月には、県の実地指導が実施され、介護保険法に基づいた点検を行い、改善を求められる事項はありませんでした。第三者評価結果に基づく中期計画の2年目として具体的取組事項の調査研究を進め、特に重点事項として職員の研修体制の構築について、新人研修の内容の見直しや職種別研修内容について検討を行いました。昨年度末に発生した感染症の影響により、年度当初からスムーズな入所ができず空床期間が多く出たため、空床期間を短縮するために検討手順を見直し、手続きの効率化を行いました。利用者・職員の負担軽減のための設備整備や機器の導入及び次年度に向けての検討を行いました。

2 障害者支援施設

障害者総合支援法の規定により、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう入浴、排せつ、食事の介護、創作活動又は生産活動の機会の提供その他必要な便宜を適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ります。

実施拠点

「しぶみ園」 定員 10名

【取組事項】

(一) 第三者評価の受審

(二) 利用者個々の意向、希望をくみ取り、日中のサービスメニューを増やし、また、外出支援も含め、日々の生活に潤いを持たせる。

(三) 基本的な人権、権利擁護の理解を深め、セルフチェックシートを活用し、虐待に繋がることがないように職員間において研修を行う。

(四) 身体状況の変化に応じた対応の強化。

【成果報告】

【しぶみ園】

年間を通して、第三者評価を受審、受審後の取組みを含め、対応しました。定型的に行っている業務に意味があることの再認識も含め、今後の課題は、山積していますが、一部人事も行い、相談、支援体制の強化を図り、今後、課題について、対応していきます。人権や権利擁護の認識については、第三者評価の受審なども経験し、以前より増えています。行事活動については、外出支援等盛り込み、年間を通して実施できました。しぶみ園においては、年間通して、介護移乗器具を有効活用できました。ショートステイの利用人数は増えているが、空床状態の改善には、至りませんでした。

三 第2種社会福祉事業

1 高齢福祉サービス(在宅)

(一) 短期入所生活介護(介護予防)

老人福祉法並びに介護保険法の規定により利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

実施拠点

「こしじの里」定員 20名

「おごしの里」定員 17 名

【取組事項】

- (1) サービスの可視化に向けた取り組み。
- (2) 在宅における生活の継続を支援する。

(二) 通所介護（介護予防）

老人福祉法並びに介護保険法の規定により利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。

実施拠点

「こしじの里」 定員 25 名

「おごしの里」 定員 25 名

【取組事項】

- (1) ご利用者の在宅での生活継続への取り組み
- (2) デイサービスの可視化を図る。

(三) 訪問介護（介護予防）

老人福祉法並びに介護保険法の規定により利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行います。

実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

【取組事項】

- (1) 自宅において自立した日常生活の継続が出来るように支援する。
- (2) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。
- (3) 利用者及び家族に対し、法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

【成果報告】

[こしじの里]

高齢在宅サービスにおいては、昨年に引き続き、多少の実績の増減はありましたが、比較的、安定した運営ができました。ただし、訪問介護においては、職員体制の要請により、後半、需要に応えることが出来ませんでした。在宅の3サービスにおける傾向として、総体的に要支援者（介護予防対象者）が増加傾向にあります。予防から介護まで、広く地域の需要に応えられるよう努めて参りたいと考えております。各事業は、短期入所において、従来型特養と担当を明確化し、ご利用者の情報をより掘り下げるよう努めました。これにより事故件数は減少しましたが、利用期間外の情報の取得が、まだまだ課題として感じております。通所においては、ご利用者の楽しみとしての通所は、できているが、予防対象者の増加に伴い、機能訓練体制の強化が、以前より増しております。3サービスとも感染症対策においては、利用時の確認など強化し、対応いたしました。3サービスともに、実利用人数は増加しており、現行の事務負担の軽減、または、効率化を図りながら、的確な情報収集体制または手法の構築を再検討し、合理化を行う必要があると考えております。収支の状況においては、各事業に差があり、こしじの里において、補いながら対応しております。

[おごしの里]

特養同様に短期入所生活介護・通所介護・訪問介護において県の実地指導が実施され、介護保険法に基づいた点検を行い、改善を求められる事項はありませんでした。

短期入所生活介護については、職員数の変動に伴いサービスの適正化を図りながら利用対応を行いました。安定した利用の継続のため、記録システム等の活用や状態把握の書類を追加整備し、利用者情報等の伝達強化を行いました。通所介護においても、職員の変動に伴い定員数とサービス提供時間の変更を行いました。ご利用者、ご家族への影響がないかケアマネジャーと連携し確認を行い大きな影響なくサービスを提供できました。可能な限りご利用者、ご家族の要望へ対応できるよう

に努め、また、利用待機者を減らせるように予約率の向上を図りました。訪問介護においても、年度途中から職員の変動があり、対応が可能な範囲での受け入れを行っております。また、フェニックスネットも継続し情報共有と介護医療の連携に活用しました。

2 障害福祉サービス(在宅)

(一) 短期入所

利用者に対し、短期間の入所を行い、入浴、排せつ又は食事の介護等その置かれている環境に応じて、必要な支援を適切に行うことにより、自立と社会活動への参加を促進する。

実施拠点

「しぶみ園」 定員 1 名

【取組事項】

(1) 身体状況の変化に応じた対応の強化。

(二) 居宅介護・重度訪問・移動支援「こしじの里」

利用者が居宅において日常生活を営むことができるよう、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる適切かつ効果的に行う。

実施拠点

「こしじの里」

【取組事項】

(1) 自宅において自立した日常生活の継続が出来るように支援する。

(2) 礼儀正しい態度と明るい挨拶で信頼関係を築いていく。

(3) 法人理念及びサービスの内容を分かりやすい説明に心掛ける。

【成果報告】

[こしじの里] [しぶみ園]

短期入所においては、実利用人数は昨年度より増加したが、単発な利用に留まっており、延利用においては、昨年度より減少しております。障害状況に応じた対応の強化は今後も必要であり、相談支援事業所との連携強化を含め、個々の状態に応じた対応が求められています。居宅介護においては、現在、実人数 2 名利用。実人数の減少により実績自体は昨年度より減少しております。サービスについては、自宅における日常生活継続のための支援を行うことができました。

3 就労支援事業

実施拠点

(一) 就労継続B型「しぶみ工房」 定員 24 名

事業統合もあり、適正な運営を実施するために必要な人員確保及び運営管理に関する事項を定め、指定就労継続支援B型の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な就労支援並びに日常生活支援等の提供を確保することを目的とする。

【取組事項】

(1) 自立のための利用者支援の拡充

(2) 社会参加と地域との交流

(3) 生活環境の整備と安全性の確保

(4) 第三者評価の受審

(二) 共同生活援助「かわばた寮」 定員 7 名 「ひまわりの家」定員 6 名

利用者が自立を目指し、地域において共同して日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の身体、精神の状況、置かれている環境に応じて、共同生活住居における食事の提供、相談、入浴排泄又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切に行う。

【取組事項】

(1) 自立のための入居者援助

- (2) 社会参加と地域との交流
- (3) 生活環境の整備と安全性の確保
- (三) 地域活動支援センター「しぶみ工房」

利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、創作的活動又は生産的活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に実施し、もって障害者の福祉の増進を図る

【取組事項】

- (1) 自立のための利用者援助の拡充
- (2) 社会参加と地域との交流
- (3) 生活環境の整備と安全性の確保

【成果報告】

[しぶみ工房] [かわばた寮]

利用者の動向としては、7名の新規利用者がある一方、就職者1名を含め、他施設利用などの理由で3名が退所され、就労継続B型契約者は31名にて年度末を迎えました。利用実績としては、長期入院の利用者等もありましたが、前年度に比べ1日当たりの利用者数は微増の24名となりました。作業関係は受注減により収入が減り、結果工賃総額も減少となりましたが、1ヶ月当たりの平均工賃は17,000円を超えました。しぶみ工房においては、充実化計画に基づき実務者研修を2名が修了、その他作業関係の免許の取得も行い、新潟県社会福祉士会による第三者評価を受審しました。評価結果を受け、重点ポイントを絞り、順次改善に取り組んでいきます。施設の目的でもある就労支援に関しては、9月より企業実習に出ていた1名が、トライアル雇用を経過後3月に就労しました。今後も就労へ向けた支援を実施してまいります。

かわばた寮においては、4月より2住居とも満室となり、利用実績も上がりました。その他では市立支援学校生徒の実習受入や、施設見学、体験利用等も例年になく多数あり、新規利用者へと繋がっており、今後も関係機関との調整のうえ啓蒙活動に努めていきます。

地域に根ざした施設づくりのため、ふれあいまつりの実施や地域行事への参加等交流を図りました。防災関係では訓練のほか学習会を実施し、職員、利用者とも防災に関する意識を高めました。その他、職員個々の資質向上、専門知識の取得のため各種研修会に積極的に参加しました。

四 公益事業

実施拠点

1 居宅介護支援

利用者の心身の状況に応じ、その置かれている環境などの特性を踏まえ、生活の質の確保及びその向上を重視し、健康管理、日常生活動作の維持・回復を図り、適切な計画作成、関係機関との調整などを行いながら、支援する。

実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

【取組事項】

(一) 在宅生活の継続を図るための、コントロール機能としての役割を果たす。

2 介護保険法に定める訪問調査

対象者の心身の状況等について、訪問して行う介護認定調査

実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

3 暮らし元気アップ事業

要支援状態等にある高齢者に対し、その有する能力に応じ自立した日常生活をその居宅において営む

ことができるよう通所型サービスを行う。生活指導（相談、援助等）、介護予防（運動機能の向上、口腔機能の向上、認知症予防等）、地域交流や生活活動体験などを実施する。

実施拠点

「こしじの里」

「おごしの里」

【取組事項】

(1) ご利用者の在宅での生活継続への取り組み

【成果報告】

「こしじの里」

居宅介護支援においては、年間を通して職員4名で実施することができました。地域における需要が増しているなか、特定事業所加算における制約はありますが、可能な限り受入の強化を図りたいと考えております。そのための業務の合理化も今後、検討して参ります。くらし元気アップにおいては、年間を通して新人職員も含め、サービス提供時間帯において、3名で対応し、自立した在宅生活の継続に繋がるよう対応を行いました。

「おごしの里」

居宅介護支援においては、職員4名体制で対応しました。年度末に退職職員が発生したため異動により代替職員を確保し、円滑な引継ぎを行いご利用者、ご家族に迷惑が掛からないよう対応しております。11月には市による実地指導が実施され、指導結果に基づき改善報告を行っております。くらし元気アップ事業は、ご利用者、ボランティアとともに安定した確保ができました。各講師により生活指導、介護予防等を実施しております。また、オレンジカフェの運営や出前講座も計画的に開催し、地域貢献活動を継続して行っております。

第六 各拠点における主な活動予定等

一 法人本部活動実績

月	主な活動と内容	その他
4月	2日 辞令交付式 4日 経営運営会議	
5月	9日 経営運営会議 22・23日 法人監査 30日 第1回理事会	16日 排せつケア勉強会 23名 (株)ユニチャーム 26日 就職ガイダンス 新潟医療福祉大学
6月	6日 経営運営会議 14日 第1回評議員会	3日 就職ガイダンス 長岡市 18日 虐待防止と身体拘束廃止に向けて28名 新潟県介護福祉士会 高橋詩子氏
7月	4日 経営運営会議	9日 就職ガイダンス 高校生向け 10日 排泄ケア勉強会 13名 (株)ユニチャーム 23日 食事に関する基礎知識 31名 新潟青陵大学短期大学部 教授 春口好介氏
8月	8日 経営運営会議	7日 職場におけるカウンセリングマインド 33名 新潟医療福祉大学 講師 片山さゆ氏 21日 介護現場における事故防止の取組み 23名 長岡介護専門学校あゆみ 庭山智可子氏
9月	5日 経営運営会議 26日 第2回理事会	12日 介護現場における看取りケア 26名 新潟県介護福祉士会 樋口美和子氏 22日 就職ガイダンス 新潟県社会福祉協議会
10月	3日 経営運営会議	15日 権利擁護について 26名 新潟青陵大学 里見佳香教授

11月	7日 経営運営会議 11日 苦情に関する報告会 21・22日 法人監査	19日 認知症の理解と治療とケア 27名 新潟青陵大学短期大学部 春口好介教授 27日 就職ガイダンス ハローワーク
12月	5日 経営運営会議 12日 第3回理事会	17日 介護に必要な心と身体を理解 25名 新潟青陵大学短期大学部 春口好介教授 22日 インターンシップガイダンス アルプス
1月	9日 経営運営会議	23日 介護に必要なウォーキング講座 19名 長岡市健康運動指導員 渡辺由希子氏 30日 救命講習 46名 長岡市消防署 消防署員3名 17日 就職ガイダンス
2月	6日 経営運営会議	5日 心を動かす言葉がけをするには 22名 新潟医療福祉大学 講師 片山さゆ氏 20日 介護記録の書き方 23名 長岡こども・医療・介護専門学校 矢尾板美佳氏
3月	6日 経営運営会議 14日 第4回理事会 27日 第2回評議員会	2日 就職ガイダンス マイナビ 12日 就職ガイダンス マイナビ 13日 就職ガイダンス アルプス

二 こしじの里しぶみ園活動実績

主な事項

- 4月25日 地域消防団との連絡会議
- 5月21日 夜間時対応避難訓練
- 5月30日 冷温水発生機切替保守点検
- 6月11日 火災発生時図上訓練
- 6月27日 夜勤者健診
- 7月 4日 消防署による消火器・消火栓の取り扱い訓練
- 7月12日 長岡労働基準監督署立入調査
- 7月15日 レジオネラ菌長岡保健所立入調査
- 7月17日 平成29年度受審第三者評価報告会
- 8月22日 ボランティア交流会
- 8月23日 貯湯槽清掃
- 8月24日 第三者評価受審(しぶみ園 ～25日まで)
- 8月24日 浴槽循環装置・ボイラー保守点検
- 8月28日 インフルエンザ勉強会
- 8月29日 風水害、地震発生図上訓練
- 9月13日 新潟労働局雇用機会均等室調査
- 9月14日 ガスメーター取替漏洩検査
- 9月18日 受水槽清掃・消防設備保守点検(～19日まで)
- 9月26日 AED取扱い勉強会
- 10月11日 HCR 展見学
- 10月13日 冷温水発生機切替保守点検
- 10月18日 出前講座 岩田地区敬老会参加
- 10月21日 昼間時想定避難訓練
- 10月29日 ボランティア交流会
- 11月 1日 ナースコール入札
- 11月20日 健康診断
- 11月28日 夜間時想定避難訓練
- 12月18日 出前講座 小国七日町

- 2月27日 防災知識学習会
- 3月5日 出前講座 飯塚いきいきサロン
- 3月8日 出前講座 十楽寺・中島長寿会
- 3月13日 消防設備機器点検（～14日まで）
- 3月19日 出前講座 小国七日町
- 3月30日 家族連絡会

行事・見学等

- 5月14日 芸能鑑賞
- 6月19日 妙高市民生児童委員 15名施設見学
- 7月21日 こしじの里夏祭り
- 8月6日 物故者法要・インターンシップ高校生2名受入（～8日まで）
- 9月15日 越路地域敬老会（利用者1名参加）
- 9月17日 こしじの里敬老会
- 9月21日 インターンシップ高校生1名受入（～23日まで）
- 9月26日 ご利用者意見交換会
- 9月29日 すこやかともしびまつり参加（利用者2名見学）
- 11月9日 衣類販売会
- 11月26日 利用者意見交換会
- 12月25日 利用者意見交換会
- 1月11日 新年会
- 3月20日 利用者意見交換会

会議・委員会

運営会議	12	衛生委員会	13
工賃算定評価基準会議		地域交流推進委員会	11
入所検討委員会	12	たんの吸引等安全管理委員会	4
防災対策委員会	11		
感染症対策委員会	22		
事故防止対策委員会	4		

苦情・意見・要望

受付件数	15		
申出人	利用者		7
	家族		8
	その他		2
内容	説明・情報不足		7
	職員の態度		6
	サービスの内容・量		8
	権利侵害		
	その他		1

事故・感染症

事故		感染症	
転倒	7	インフルエンザ	4
転落	2	感染症胃腸炎	0
外傷	0	疥癬	0
その他	5	その他	1

※事故・感染 行政報告を行ったもの

三 おごしの里活動実績

主な事項

- 5月20日 家族協力会
- 5月25日 新潟県介護保険サービス事業者等の実地指導
- 5月28日 電気保安協会停電検査
- 6月11日 夜勤者健康診断
- 6月11日 消火器・消火栓取扱い訓練
- 6月25日 災害時必要備品準備訓練
- 7月7日 地域消防団・近隣住民参加避難訓練
- 7月20日 長岡消防署立入検査
- 8月4日 受水槽清掃点検
- 8月21日 AED取り扱い救命講習会
- 8月27日 地下タンク点検
- 8月27日 消防設備点検
- 9月25日 地震想定避難訓練
- 10月31日 入所者・職員インフルエンザ予防接種
- 11月11日 オレンジカフェ認知症サポーター養成講座
- 11月15日 長岡市居宅介護支援事業所実地指導
- 11月16日 職員健康診断・ストレスチェック実施
- 11月22日 消防署立会夜間想定避難訓練
- 1月28日 AED取り扱い救命講習会
- 2月27日 消防設備点検
- 3月13日 ボランティア懇談会

行事・見学

- 5月14日 芸能鑑賞
- 7月11日 社会福祉法人大佐渡福祉会役職員視察研修25名
- 7月29日 納涼会
- 8月5日 おぐにかかしまつり
- 8月8日 お盆法要
- 8月26日 もちひとまつり花火大会
- 9月15日 小国地域敬老会
- 9月16日 敬老会・お買い物会
- 9月29日 すこやかともしび祭り
- 10月7日 ふれあい交流祭
- 11月3日 おぐに秋まつり
- 11月11日 若翔会ボランティア
- 1月13日 特養入所者新年会

会議・委員会

運営会議	12	衛生委員会	10
工賃算定評価基準会議		地域交流推進委員会	11
入所検討委員会	6	たんの吸引等安全管理委員会	2
防災対策委員会	12		
感染症対策委員会	6		
事故防止対策委員会	12		

苦情・意見・要望

受付件数	6	
申出人	利用者	

内容	家族	5
	その他	1
	説明・情報不足	1
	職員の態度	3
	サービスの内容・量	2
	権利侵害	
	その他	

事故・感染症

事故		感染症	
転倒	3	インフルエンザ	
転落	1	感染性胃腸炎	
外傷		疥癬	
その他		その他	

※事故・感染 行政報告を行ったもの

四 しづみ工房活動実績

主な事項

- 4月 5日 防災機器取扱い説明
- 4月28日 家族会総会
- 5月18日 ひまわりの家消防署立入検査
- 5月28日 しづみ工房消防署立入検査
- 8月13日 消火器取扱訓練
- 8月25日 職員健康診断
- 9月 3日 消防設備点検
- 9月19日 第三者評価受審
- 11月22日 新潟県障害サービス事業所集団指導
- 12月11日 こころの健康相談
- 12月12日 第三者評価受審（追加聞き取り）
- 3月 4日 消防設備点検

行事・見学

- 4月19日 お花見会
- 5月 8日 地域奉仕活動
- 5月17日 北里大学保健衛生専門学院学生4名見学
- 6月 9日 ふれあいまつり
- 7月23日 愛とヒューマンのコンサート
- 8月10日 納涼会
- 9月29日 すこやか・ともしびまつり
- 10月 5日 日帰りバスハイク
- 10月15日 原田英昌ショー（おぐに荘）
- 11月 3日 おぐに秋まつり
- 12月21日 忘年会
- 1月 4日 新年お楽しみ会

会議・委員会

運営会議	4	衛生委員会	
工賃算定評価基準会議	6	地域交流推進委員会	
入所検討委員会	5	たんの吸引等安全管理委員会	
防災対策委員会	4		

感染症対策委員会			
事故防止対策委員会			

苦情・意見・要望

受付件数	2		
申出人	利用者		2
	家族		
	その他		
内容	説明・情報不足		
	職員の態度		
	サービスの内容・量		
	権利侵害		
	その他		2

事故・感染症

事故	感染症		
転倒		インフルエンザ	
転落		感染症胃腸炎	
外傷		疥癬	
その他		その他	

※事故・感染 行政報告を行ったもの

※事故・感染症について

行政報告を行う例

事故・・・負傷により入院加療が必要となった場合又は受診をした場合

感染症・・・10人程度の発症又は重篤者があった場合